作成日：２０１３年　８月　２日
更新日：２０１５年　９月１０日

お客様各位

キヤノンＩＴソリューションズ株式会社

ＤＥＸ－Ⅲ（Windows 版）
バージョン　2．02　リビジョン02　変更内容について

拝啓　貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「DEX－Ⅲ（Windows 版）」（Ver.2.02-01→Ver.2.02-02）において、
下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

記

［概要］

・弊社社名変更に伴い、関連する表記を修正しました。

［強化項目］

以下の機能を強化しました。

［システム全般］

◎以下の OS に対応しました。
＜全銀 TCP/IP 手順＞
・Microsoft Windows Server 2012 Datacenter
・Microsoft Windows Server 2012 Standard
・Microsoft Windows Server 2012 Essentials
※Java 実行環境は 64bitJava7 のみの対応です。

◎以下の OS を動作対象から除きました。
・Microsoft Windows Server 2008 Standard
・Microsoft Windows Server 2008 Enterprise
・Microsoft Windows Server 2008 Standard x64 Edition
・Microsoft Windows Server 2008 Enterprise x64 Edition

◎以下の OS の 64bitJava7 環境に対応しました。
＜全銀 TCP/IP 手順＞
・Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard
・Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise

◎以下のブラウザに対応しました。
・Windows Internet Explorer 10

◎以下のブラウザを動作対象から除きました。
・Windows Internet Explorer 7

［スケジュール機能関連］

◎一定間隔スケジュールで、稼働時間帯が重複する稼働スケジュールを作成できないようにしました。

［全銀 TCP/IP 手順関連］

◎ローカルアドレスを固定したファイル転送をできるようにしました。

［改修項目］

以下の問題点を修正しました。

［スケジュール機能関連］

・稼働時間帯が連続または重複する稼働スケジュールが存在するジョブを開始すると、ジョブを停止できなくなることがある。

［全銀ベーシック手順関連］

・サイクル番号を使用する設定の場合、「全銀ファイル名」に半角英数字以外が設定できてしまう。

［全銀 TCP/IP 手順関連］

・以下のいずれかでポートをオープンしていると、1 次局のファイル転送の開始に時間がかかる。
　・DEX-III 起動時に自動的にオープン
　・運用者権限のアカウントがポートをオープン

・サイクル番号を使用する設定の場合、「全銀ファイル名」に半角英数字以外が設定できてしまう。

・2 次局の場合、接続に失敗するとソケットチャネルがクローズされない。

［コード変換機能関連］

・IBM の 1 バイトコード変換処理で、半角の"（ダブルクォーテーション）がブランクに変換される。

［ユーティリティ関連］

・START コマンドで-sync オプションを指定しているにもかかわらず、フォルダ転送の終了を待たずに、終了コード「0xf3」（システムエラー）が返ることがある。

・DELETE コマンドで 128 個または 134 個のファイルが正常に削除されると、以下のメッセージが表示され、終了コードが 0x00 以外になる。
＜128 個のファイルを削除した場合＞
「指定フォルダ名が不正です。(80)」
＜134 個のファイルを削除した場合＞
「指定されたセクション ID が不正です。(86)」

・LOG コマンドで最新のログが表示されないことがある。

［インポート&エクスポート機能関連］

・ジョブ定義におけるスケジュール定義の指定は必須でないにもかかわらず、スケジュール定義を指定していないジョブ定義をインポートするとエラーになる。

［保守機能関連］

・スケジュールログ照会画面で、以下のすべての条件を満たすジョブの詳細を表示しようとすると、NullPointerException が発生する。
　・コマンドの実行により標準出力への出力がある
　・コマンドに関連づいたイベントが実行済みである

・稼働時間帯が連続または重複する稼働スケジュールが存在するジョブを開始すると、スケジュールログに大量のログが出力される。

・以下のジョブを開始後すぐに停止すると、スケジュールログに監視中のジョブの「処理済み（中断）」のログが 1 件ずつ余分に出力されることがある。
・ファイル監視ジョブ
・ディレクトリ監視ジョブ
・受信転送監視ジョブ

・ログ閲覧ツールで表示件数を指定して通信ログを表示すると、最新のログが表示されないことがある。

［マニュアル関連］

・『DEX-III ユーザーズガイド』に、ログに出力されない結果コード「E_L_LOGNOTFOUND」が誤った内容で記載されている。

・『DEX-III 定義インポート&エクスポート リファレンスガイド』に、zgbasicpartner タグに属性として設定を行うパラメータとして、全銀ベーシック手順では設定できない「timeout」が記載されている。

［その他］

以下の仮想環境での動作を確認しています。

仮想化システム	ゲスト OS	32 ビット	64 ビット
VMware vSphere 5.0	Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise SP1	－	○
	Microsoft Windows Server 2012 Standard	－	○
	Microsoft Windows Server 2012 Essentials	－	○
	Red Hat Enterprise Linux 5.5	○	－
	Red Hat Enterprise Linux 6.3	－	○

○：確認済み　－：対象外

＜前提条件＞
仮想環境で利用を計画する場合、次の条件をふまえて検討してください。
・仮想化システム、ゲスト OS の保守については、お客様の責任でそれぞれのメーカー様、ベンダー様とご契約ください。
・ゲスト OS は、ネットワークの接続も含め正常に動作している必要があります。
・ゲスト OS のリソースは、ゲスト OS の必要分の他に弊社製品の H/W 要件を満たす十分なリソースを割り当ててください。
・仮想環境に起因する不具合は対応できかねます。

弊社で確認した仮想化システムとゲスト OS のバージョンと違うバージョンを組み合わせた場合の動作については弊社営業にご相談ください。

以　上

Microsoft、Windows、Windows Server および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。